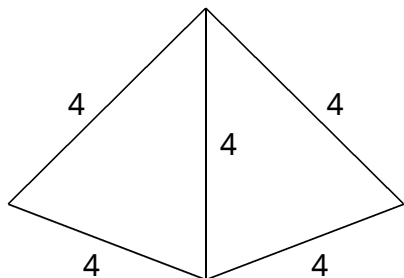
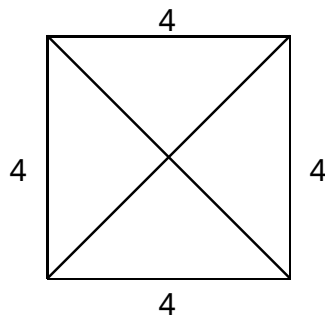


立体視(1) クラス() NO() 名前()

下のような四角錐がある(長さの単位は cm)。



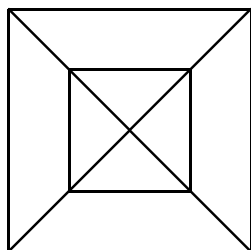
[横から見た図]



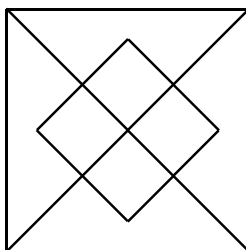
[上から見た図]

上から見たときに次のような図が見えるようにするには、展開図にどんな線を書けばいいだろう。予想して書いてみよう。

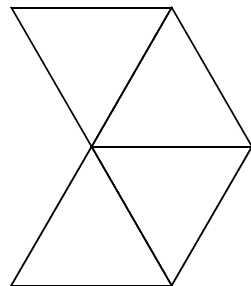
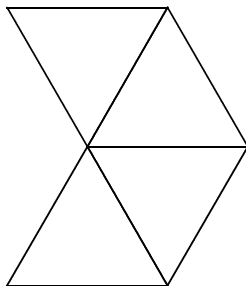
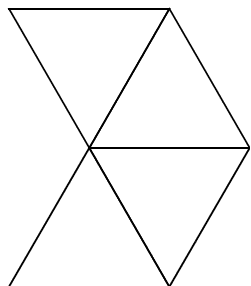
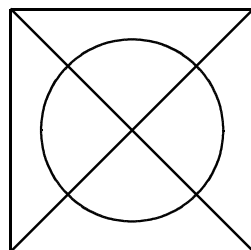
A



B

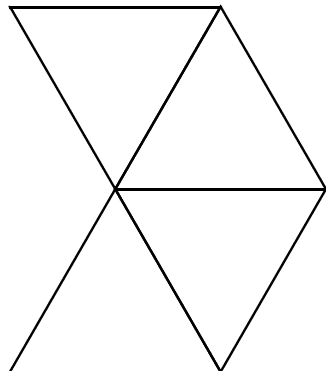
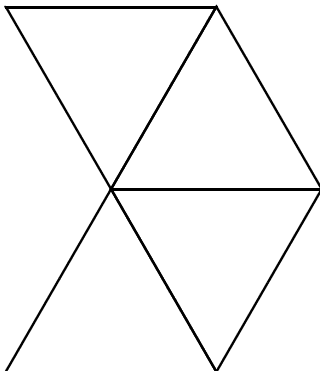
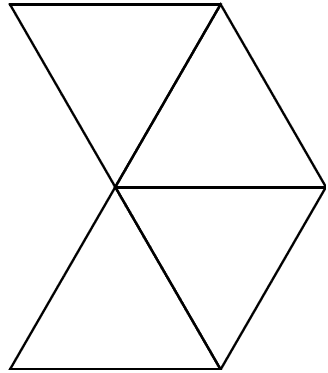
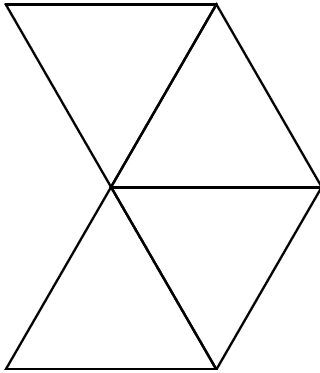


C

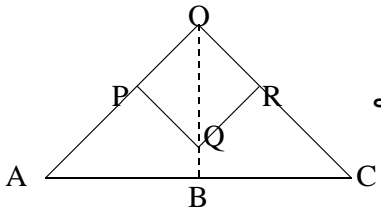


立体視(2) クラス() NO() 名前()

下の図に線を書き込んで、実際に作ってみよう。

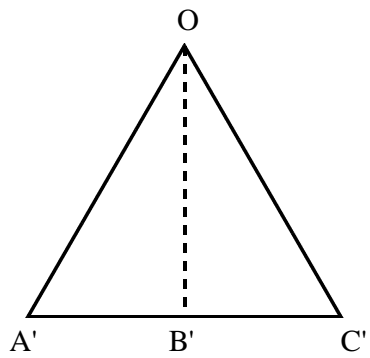


(1) のBの書き方を考えてみよう。



OA:OP, OB:OQ, OC:OR を求めてみよう(およそでよいので実際に測る)。

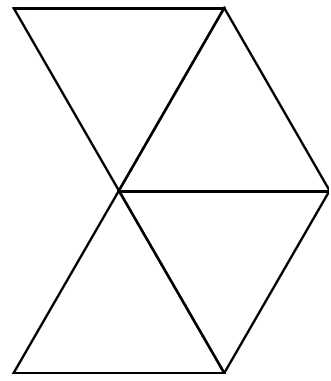
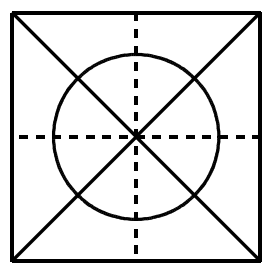
$$\begin{aligned} \text{OA} : \text{OP} &= & : \\ \text{OB} : \text{OQ} &= & : \\ \text{OC} : \text{OR} &= & : \end{aligned}$$



OA : OP, OB : OQ, OC : OR と、
OA' : OP', OB' : OQ', OC' : OR'が
等しくなるように、左図に P', Q', R'
を書こう。

他の3つの面も同じように書く。

上の書き方を参考にしてCを書いてみよう。



できたら、切り取って組み立ててみよう。